

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 新型インフルエンザ等対策会議運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 感染症対策推進課 感染症対策係

電話番号：058-272-1111 (内3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 700 千円 (前年度予算額： 1,175 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,175	583	0	0	0	0	0	0	592
要求額	700	345	0	0	0	0	0	0	355
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ア 地域新型インフルエンザ等対策会議

「岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画(平成25年10月策定)」(以下、行動計画という。)に基づき、保健所が中心となり、地域の医療関係者から成る会議を開催し、帰国者・接触者外来の設置、入院医療体制、まん延期の医療体制、予防接種体制等について検討を行っている。

新型インフルエンザ等対策の中核となる医療体制について、地域ごとの関係機関との協議を経て整備が進んでいる。今後も、体制の検討・協議を進める必要がある。

イ 地域新型インフルエンザ等対策訓練

新型インフルエンザ等対策特別措置法12条及び行動計画により、行政機関の長等は新型インフルエンザ等対策についての訓練を行うよう努める必要がある。これまで、各保健所が主体となり、市町村や医療機関、消防等と連携し必要な訓練を行ってきた。令和5年度末に策定された健康危機対処計画(感染症編)においては、各保健所は実践的な訓練を行い、保健環境研究所は実践的な訓練に参加すると定められており、保健環境研究所も含めて新型インフルエンザ等対策の実践的な訓練を行っていく必要がある。

ウ 抗インフルエンザウイルス薬対策会議

行動計画に基づき、地域医師会関係者、地域薬剤師会関係者、指定(地方)公共機関を含む卸業者、学識経験者、保健所職員等が参加する抗インフルエンザウイルス薬対策会議を開催し、新型インフルエンザの発生時における抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等を図る。

（２）事業内容

行動計画に基づき行う対策の実行性を確保するため、以下の会議及び訓練を開催する。

ア 地域新型インフルエンザ等対策会議

発生前から、保健所単位で、地域の実情に応じた医療体制の整備について医療関係者、市町村等と協議する。

イ 地域新型インフルエンザ等対策訓練

保健所単位で新型インフルエンザ等発生時を想定し、保健環境研究所、市町村、医療関係者、消防等と必要な訓練を実施する。

ウ 抗インフルエンザウイルス薬対策会議

管内の卸業者及び医療機関等の抗インフルエンザウイルス薬の在庫状況等を短期間に把握する体制整備に関すること、備蓄している抗インフルエンザウイルス薬の放出方法に関することについて取り決める。

（３）県負担・補助率の考え方

国 1／2 県 1／2 ※一部は国費対象外

（４）類似事業の有無

無し

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	175	アドバイザー、講師等謝礼
旅費	120	業務旅費、費用弁償
消耗品費	333	訓練用個人防護具等消耗品費
会議費	14	会議時のお茶
役務費	29	通信運搬費
使用料	20	会場借上げ
保険料	9	訓練参加者の保険料
合計	700	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画、各保健所及び保健環境研究所健康危機対処計画（感染症編）

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

平成25年10月に策定した「岐阜県新型インフルエンザ等対策行動計画」（令和7年3月改定）に基づく、地域ごとの具体的な医療体制を協議するため、保健所が中心となり、地域の医療関係者、市町村等の関係者からなる対策会議を開催し、地域の実情に応じた医療体制を整備する。また、訓練を通じ新型インフルエンザ等発生及びパンデミックの際の医療体制を確認する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R-)	達成率
①対策会議・訓練を開催した圏域数		5	5	5	5	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	例年、地域新型インフルエンザ等対策会議及び実動訓練・机上訓練等を圏域毎に実施していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う保健所・医療機関の業務状況を考慮し中止とした。
	指標① 目標：__5__ 実績：__0__ 達成率：__0__ %
令和5年度	新型コロナウイルス対応における経験を踏まえた訓練を計画し、岐阜・中濃・東濃・飛騨の計4圏域にて患者移送、感染防御具の着脱等実践的な訓練を実施した。
	指標① 目標：__5__ 実績：__4__ 達成率：__80__ %
令和6年度	新型コロナウイルス対応における経験を踏まえた訓練を計画し、岐阜・西濃・中濃・東濃・飛騨の計5圏域にて患者移送、感染防御具の着脱等実践的な訓練を実施した。
	指標① 目標：__5__ 実績：__5__ 達成率：__100__ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	新型インフルエンザ等発生時には、関係機関の適切な役割分担及び地域の医療資源の効率的活用が必須である。これらの調整は、地域医療体制整備の核である保健所を中心に、検査等を担う保健環境研究所も含め行う必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症に対する医療体制整備では、地域の関係機関間の緊密な連携が特に必要であり、過去の会議・訓練で得た知見やノウハウが活用された。新たな感染症発生時にも活用が見込まれる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	主催会議については、伝達・協議事項を精査・事前調整する等により、必要十分な回数で開催するようにしている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症に対する医療体制整備で明らかとなった課題等を協議し、今後の会議・訓練へ反映させる必要がある。地域の関係機関間の緊密な連携を維持するには、定期的な会議・訓練等は不可欠である。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症に加え、世界では高病原性鳥インフルエンザ、エボラ出血熱等の発生も続いており、新たな感染症のパンデミックに備えた迅速かつ盤石な危機管理体制の構築は必須である。具体的な課題について協議し、関係機関とより一層緊密に連携を図る必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	<div style="text-align: right;">【〇〇課】</div>